

吹田市立 市民公益活動センター

News
Letter

市民公益活動センターと地域のこれから

創刊号

VOL.1

～「新しい公共」でまちづくりを！～



吹田市立市民公益活動センター
センター長 柳瀬 真佐子

暮らしやすいまちにするため自発的にさまざまな活動に取り組む市民を支援し、交流を進める場として、平成24年(2012年)9月、阪急南千里駅前に吹田市立市民公益活動センターがオープンしました。

平成12年(2000年)5月に発足した「吹田市行政との協働を考える市民会議」に端を発し、吹田市内を中心に活動する市民活動団体に対する実態調査と意識調査を参考に、平成14年(2002年)3月には、「吹田市市民公益活動の促進に関する条例」、平成23年(2011年)12月に「吹田市立市民公益活動センター条例」の制定と、約10年の論議を経て設立した経緯からも、このセンターは吹田市民待望の施設といえるでしょう。

当センターは、吹田市で活動するボランティア、NPO、また自治会などの地縁団体、社会教育を主な目的としたサークル活動を行う団体などが取り組む市民公益活動を支援、応援するための拠点施設です。まちづくり、環境、子育て、高齢者福祉、防犯、防災、青少年育成など、地域の課題はますます増大しています。このような地域課題、社会課題を行政だけで解決することは難しいことから、今、市民公益活動という、民間の非営利活動が注目されています。

当センターには、貸会議室、印刷室、団体の事務ブース、貸ロッカー、貸物品棚、貸メールボックスや、市民交流スペースなどがあります。市民公益活動についての資料提供や市民公益活動についての相談、各種の情報提供、関連講座・交流会、調査などの事業を行っています。

このような機能を兼ね備えた当センターの存在は、これからの時代に求められる「新しい公共」の考え方に沿ったものといえるでしょう。市民公益活動の共通課題に対処することを専門にする中間支援組織が指定管理者として運営していますので、利用者に対する質の高いサービスを公平な立場で実現でき、市民公益活動全体を強化できます。また、利用者の立場からの気配りと工夫に満ちた施設運営を実施できる可能性を持っています。

吹田市は、自治会などの地縁団体と、市民有志で結成され、特定のテーマや課題に関心を持つ人々が自主的に

集って活動するボランティアグループやNPO法人などが活発に活動しています。この双方の積極的な活動によって、生活や社会に関わるさまざまな取り組みが、たくさんの市民の手によって行われています。

当センターでは、このような市民公益活動団体の皆さまと共に、地域の課題について話し合い、解決に取り組み、情報交換や発信、市民公益活動のネットワークを促す場を創造したいと願っています。皆さまのご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

内覧会のご報告



平成24年9月3日(月)午前10時～午後5時、当センターの内覧会を開催しました。総勢250名の方々にご来場いただき、お陰様を持ちまして、大変盛況に終えることができました。交流スペースでは、大正琴アンサンブルグループ「Bio!」による演奏、「トーンドロップス」によるトーンチャイムの演奏、分野別交流会、テーマカフェを行いました。また、絵画展(出展団体バケッタ・マジーカらくがきクラブ)や、各団体の活動パネルの展示、配布用のチラシを設置しました。貸会議室や印刷室、貸事務ブース、貸ロッカー、貸物品棚などの各部屋の利用について、スタッフがご案内しました。交流スペースでは、和やかな雰囲気の中で談話がなされました。テーマカフェの参加者からは、市民活動をする中で悩みやうれしいことなどを分かちあえる場所、さまざまな相談ができる場所になってほしいと意見をいただきました。ご参加くださった皆さま、ありがとうございました。



哀愁の中にも力強い演奏の「Bio!」



包み込むような音色の「トーンドロップス」

吹田の市民公益活動団体が語る 私たちのまちは市民の手から！

吹田市立市民公益活動センターが開設されて早一ヶ月が経ちました。このセンターを市民公益活動団体がどう活用しているか、センターへの期待や役割について伺いたくて、10月10日（水）に市民公益活動団体を5団体招き座談会を開きました。また、それぞれの団体の活動を通して、吹田のまちづくりに市民公益活動が果たす役割についてもお話いただきました。

進行 / 吹田立市民公益活動センター センター長：柳瀬真佐子



子育てCoCo ステーション

代表者：
岡田真由美さん



NPO法人 すいた環境学習協会 (SELF)

理事長：
石橋修作さん



NPO法人 市民ネットすいた (CNS)

理事長：
長谷川美津代さん



NPO法人 JR吹田駅周辺 まちづくり協議会

理事長：
野田和生さん



NPO法人 孫の手

理事長：水浦二郎さん(左)
事業所長：澤井秀規さん(右)

自己紹介

柳瀬：所属する団体の活動内容、そして、皆さんが活動を始めたきっかけをお教えてください。

石橋：現在170名弱の会員が環境学習支援などを通じて社会貢献活動を展開しています。毎年20～30名ほどの新会員を迎え、順調に規模を拡大しています。4つの組と5つのクラブがそれぞれ異なったテーマの活動をしており、参加者が200名を超える大型のイベントを催すこともあります。

私は現役時代から海外、特にヨーロッパの大手企業のCSR活動に興味を持ち、環境への配慮がいかに大切かを痛感し、すいたシニア環境大学を経て、SELFの活動理念に賛同し、環境(エコ)の語り部として活動を始めました。

野田：昨年の9月にNPO法人認証を受けた私たちはJR吹田駅周辺の賑わいを取り戻すための活動をしています。安心安全なまちづくりをめざして地域の自転車等の不法放置防止に取り組んだり、オータムフェスタなどのイベントを催したりしています。

活動を始めたきっかけは落ち込み気味の商店街の活気を取り戻したいと思ったからです。

澤井：私たちの団体は福祉活動として高齢者・障がい者への介護保険事業などを行っています。介護保険で賄えないサービスを安い費用で提供したり、在宅介護を受けている方や、施設におられる方を対象にイベントや講習会を開催したりしています。また、高齢者の相談も受けており、民生委員のような役割も果たしていると思います。活動を始めたきっかけは一人でも多くの人を助けたいという信念があったから、そして社会的企業になるような活動をしたいと思ったからです。人のため、人の役に立つ活動をしたいとこの団体に加わりました。

岡田：子育て支援の場、交流の場としてのつどいの広場を運営しています。子育てのいろんな悩みに対応し、「おしゃべり電話・個別相談」なども行っています。またお楽しみ企画、イベントも催しています。CoCoに来れば実家にもどったような気分になって、リラックスができ、自分らしく振舞える、そんな居場所作りに励んでいます。

以前、保育ボランティアをしていたとき、子どもの虐待事件が増えたことを受け、子育て中の保護者が集まれる場所が欲しくなりました。最初はJR吹田駅周辺まちづくり協議会の野田さんに協力していたが、吹田駅前商店街に場所を確保して活動を始め、1年後に今の千里山に移りました。

長谷川：私は福祉のボランティアをずっとして、活動しているうちに人と人をつなぐ場が必要だと思い、居酒屋「たんぼぼ」を立ち上げて運営にたずさわって、昨年に、仲間とCNSを立ち上げました。CNSは市民公益活動団体を支援するNPOで、この公設民営のセンターの指定管理者に選ばれました。このセンターが市民をつなぎ、吹田の市民活動の輪が広がることを期待しています。

柳瀬：子育て・教育のテーマ型の中間支援団体の代表と事務局長を今年3月まで務め、今はこのセンター長を務めています。私は20年以上NPOに携わり、職員として仕事をしてきました。皆さんの自己紹介からそれぞれの活動に対する思いがよく伝わりました。

センターへの感想

柳瀬：センターがオープンして1か月が過ぎましたが、野田さんと岡田さんは初めて来られたんですね。他の皆さんはこのセンターを使ってみてどうですか？

石橋：ここは立地もいいし、建物も新しいので、いい場所ですね。でも利用者が少ないようです。奥に事務所があるため、入るかどうかためらっている方々に気づかず、案内しそびれていませんか？玄関あたりに受付でも設置するなど、足を運ぶきっかけや仕組みが必要です。

野田：綺麗なおところですが、私たちのような市の南部に拠点を置いているNPOにとっては少し遠いです。近隣のNPO団体がうらやましいです。NPOの支出を大きく占めるのが貸室費用なので、こういうセンターが近くにあると便利です。

澤井：駐車・駐輪場が有料になっていることが活動に影響しています。ボランティアさんはよく自転車やバイクで来ますので公共交通だけを使うには限界があります。

岡田：そもそも公益活動センターとは何をするとところなのか分かりません。そのため市民が入りづらく感じるかもしれません。他の階に無料で使える部屋があるので、このセンターの会議室の使用料金が少々高く感じるのかもしれませんが。

柳瀬：センターの名前が分かりづらくて硬いイメージがあるのは確かです。いまセンターの愛称の募集をしていますので、皆さんもぜひご応募ください。

市民公益活動とは

柳瀬：その硬くて分かりづらい市民公益活動ですが、皆さんはどのようにとらえておられますか？

野田：イベントを通して地域ににぎわいをもたらし、まちづくりや人の

ためになる活動が私にとっての市民公益活動です。

長谷川：私は今まで人のためという理由ではなく、いろいろな人と会うため、自分の人生の幅を広げるために市民公益活動に参加してきました。傾聴ボランティアの活動を通じて高齢者のお話を聞いていたら新しい発見があったり、勉強になったりしました。

石橋：SELFのメンバーは、主に60～70歳代のシニアの方々が多面的な活動に参加しています。環境保全のための環境教育や関連する社会貢献活動を通して、市民の方々や授業の一環として子ども達に体験型の講座を行っています。緑のカーテンやビオトープ作り、稲刈り体験もその一環です。シニアの知恵を生かし授業だけでは得られない、楽しい判りやすい講座を展開する、ゲストティチャーとして授業の歯車の一つになりたいです。

柳瀬：今の子どもや若い世代は、同世代の横のつながりが強く、異世代の縦のつながりが少ないようです。市民公益活動はいろいろな世代をつなぐことのできる活動といえますね。

野田：商店街の高齢化に伴って、市民公益活動をしている方々も高齢化し、若い方で50代です。縦のつながりはあるが、共通の関心は商売だけなので、なかなか活動の幅が広がりません。あと男女の活動参加比率は、97:3(男:女)ぐらいで女性の方が圧倒的に少ないです。

石橋：SELFの活動は6:4(男:女)ぐらいですかね。

澤井：私たちの活動は福祉関係なので女性の方が多いです。ヘルパーボランティアは女性が多いです。

岡田：地域とのつながりをもっと持ちたいです。商店街の方々と知り合い、活動を知ってもらいたいが、忙しくてなかなか時間を作れません。スタッフは地域と交流し、地域に溶け込み、見守りのある環境で子育て支援をしていきたいと考えています。今のところ活動に関わっているのは女性ばかりなので男性の方にも参加してほしいです。

柳瀬：自分たちのやりたい活動だけをしてもだめですね。地域に活動内容を伝え、フィードバックをもらうことも大切です。皆さんは団体の活動をどうやって社会に発信していますか？

澤井：地域との連携を大切にしています。福祉の活動だけでなくいろいろな分野に進出し、自分たちが専門としない分野からも解決策を探ることにしています。

センターの役割とは

柳瀬：このセンターは市民公益活動の推進を目的としていますが、具体的にどのような役割を果たしてほしいと皆さんは思いますか？

澤井：このセンターに人と人をつなぐ役割を果たしてもらいたいです。

会議室を使って講習会などをしてセンターを知ってもらうなど、イベントを企画して人を集めてほしいです。

石橋：待ちの姿勢ではなく攻めの姿勢で利用者を増やすしかないですね。利用者の関心を引くためにも大きいパネルを玄関に置いたらどうでしょう？

柳瀬：ぜひ皆さんの団体の活動拠点にこのセンターをご利用ください。皆さんと共に吹田市を盛り上げていきたいと思います。

これからの活動について

柳瀬：では、最後に皆さんのこれからの活動目標をお教えてください。

石橋：改正した、いわゆる環境教育法をさらに咀嚼し、根付かせる取り組みをしつつ、組織の活性化をめざした活動をしていきたいと思います。

野田：サンクス夢広場付近の駐輪場は400台しか置けないので、大量の自転車がアーケード内に放置されています。この問題に取り組み、商店街を交通弱者が安心して歩ける場所にしたいです。

澤井：相談事業を広げる予定です。介護保険を知らない方が多く、制度が十分に活用されていません。そして移動支援(ボランティアが高齢者や障がい者のお出かけをサポート)を拡大し、許可がないと外に出られない方や、手足の不自由な方々が、寝たきりや閉じこもりになることなく、生きがいを感じられる生活を送ってほしいです。

岡田：もっと広い活動の場が欲しいですね。そうすればもっといろいろな方の声に応えることができ、より充実した活動ができると思います。そして、ステーションに来られない方とも何らかの形でつながり、地域に根付いていく活動をしていきたいです。

長谷川：このセンターの周知はまだまだ足りないもので、いろいろな分野で活躍しているCNSの理事・会員56人でセンターをバックアップし、スタッフとコミュニケーションを取りながら、にぎわいのあるセンターにしていきたいと思います。

柳瀬：たくさんの意見や感想をいただき、ありがとうございました。改善できる点においてはできるだけ工夫をし、皆さんの意見を活かせるようにしたいと思います。できれば、皆さんには、これから立ち上げる予定の利用者協議会にも参画して頂き、一緒にセンターの発展を考えていただきたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いしします。

市民公益活動センターの愛称募集

ボランティアやNPO、自治会などの地縁団体の活動を支えるセンターにふさわしい愛称を募集します

●応募先：11月末日までにファックスかメール、郵送で当センターへ
●発表：1月初旬 当センターホームページ上で

市民公益活動センターからのお知らせ

※お申し込み・お問い合わせは当センターまで

ご相談ください！税理士がお答えします

費用
無料

市民公益活動団体の会計、税務相談のための個別専門相談日を設けています。市民公益活動団体役員、会計担当者の皆様には無料で相談員の真鍋光廣氏(まなべ会計事務所所長、近畿税理士会公益活動対策部第一小委員会(NPO法人・公益法人担当))にご相談いただけます。

- 日時：2012年11月27日(火)13:30～15:30
2012年12月20日(木)19:00～21:00
2013年 1月20日(日)13:30～15:30

申込締切：各回の1週間前まで

市民公益活動入門講座

費用
無料

ボランティア活動や地域活動をしたい方、市民公益活動について知りたい方が対象です。数名から10名までの少人数で、ボランティア活動や地域活動、NPOなどについてご説明したあと、個別のご質問やご相談にお答えします。

- 日時：毎月 第2土曜日 /13:30～15:00
第4木曜日 /10:30～12:00
<2012年>11月10日(土)、22日(木)/12月8日(土)、27日(木)
<2013年> 1月12日(土)、24日(木)/ 2月9日(土)、28日(木)
3月 9日(土)、28日(木)

NPO 法人入門講座

費用
無料

NPOとは何か、NPO法人制度そしてNPO法人申請の仕方などについて解説します。

- 日時：2012年12月4日(火)10:30～12:00
2013年2月19日(火)19:00～20:30

マスターしよう！団体の会計と税金 — 税理士がやさしく解説します —

費用
無料

市民公益活動団体の日々の会計処理、NPO会計改正などについての入門的な講座を開催します。講師は真鍋光廣氏です。

- 日時：2012年12月8日(土)13:30～15:30
- 対象：市民公益活動にかかわるすべての方
- 定員：20名 申込締切：当日まで

その他の施設のご案内

※申込期限が書かれていない場合は当日までです。

浜屋敷～吹田歴史文化まちづくりセンター～

すいた 昔 さろん

蔵の中でお茶でも飲みながら言うたり聴いたりしませんか？そこらへんのちょっと昔の話を持ち寄り楽しみましょう！知ってるつもりで知らない吹田に気づきます。

費用
無料

- 日時：11月19日(月)14:00～16:00
- 場所：『浜屋敷』蔵 ■定員：10名
- 申込：11/1(木)から電話06-4860-9731まで
- 進行役：
郷土史ソムリエ 加賀真砂子(大阪府文化財愛護推進委員)
郷土史マスター 五月女賢司(吹田市立博物館学芸員)

夢つながり未来館

吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館も「ゆいぴあ」という愛称が決まり、ますます皆様に愛される場所になっています。12月は毎週日曜日にクリスマスイベントを企画しています。ハンドベル、ゴスペル、ライブ、そして青少年が開催するカフェありと盛りだくさん。幅広い年代との交流を望む青少年のためにもぜひたくさんのご来館をお待ちしています。詳しくは吹田市ホームページ

<http://www.city.suita.osaka.jp/home/soshiki/div-chiiki-kyoiku/yumetunagari.html> をご覧ください。

社会福祉協議会～ボランティアセンター～

精神保健福祉ボランティア養成講座受講生募集

身近な地域で心の病のある方とかかわる ボランティア活動を始めるための講座

- 日時：12月1日から12月15日の毎週土曜日の
3回連続講座10:00～12:00
期間中1日以上の実習に参加(実習先は市内事業所)
- 場所：総合福祉会館
- 定員：講座の全日程に参加できる方先着40人
- 受講費：1,000円 ■申込：電話6339-1254まで

センターホームページ・アップ

<http://suita-koueki.org>

わくわく ときどき の情報発信

編集後記

ニュースレターの作成に携わったのは初めてですが、編集スタッフとワイワイ討論しながら楽しく作業を進めることができました。これからも皆さんに市民公益活動の情報提供をしていきますのでよろしくお願い致します。(李)

<発行責任者>柳瀬真佐子

<編集スタッフ>奥井雅衣・鍵谷誠一・佐藤和男・李 顯(五十音順) <デザイン>茨木由美

吹田市立 市民公益活動センター

〒565-0862 吹田市津雲台1丁目2番1号

千里ニュータウンプラザ6階

TEL 06-6155-3167 FAX 06-6833-9851

メール info@suita-koueki.org

ホームページ <http://suita-koueki.org>

指定管理者 NPO 法人 市民ネットすいた

